

第137期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

株主の皆様へ To Our Shareholders



代表取締役社長
赤松 恭夫

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、当社第137期中間連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）を終了いたしましたので、当社グループの営業の概況ならびに中間決算につきましてご報告申し上げます。

我が国経済は、アジア向け輸出に牽引され景気回復の兆しが見られたものの、円高と株安が新たな足かせとなってデフレの長期化に歯止めが掛からず、雇用不安や所得減少が解消されない不安定な状況が続いております。

紙パルプ業界におきましても、企業の広告宣伝費削減にデジタル化・ネット化の進行も加わってカタログ・チラシ用途の大幅減など、国内需要の低迷が続いております。

このような状況下、当社では成長著しい中国・アセアン諸国を中心に海外部門の拡大・強化を図っております。また、各国固有のカントリーリスクを排除するために、現地との情報交換を密にし、新たなビジネス展開を目指しております。国内では、循環型社会を意識した環境ビジネスの投入や新規事業の構築、コア分野である紙・板紙販売における物流効率化など、『GIFT+1』ビジョンの具現化に取り組んでまいります。

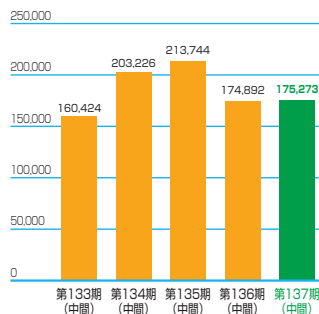
また、公正かつ適正な企業活動を不可欠と考え、CSR活動を通して内部統制・ガバナンスの徹底に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

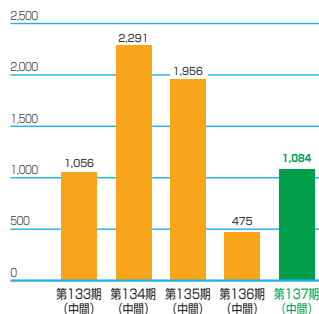
平成22年11月

財務ハイライト(連結) Business Highlights

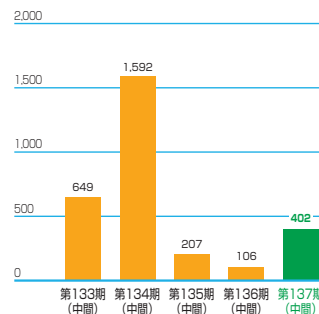
売上高 (単位: 百万円)



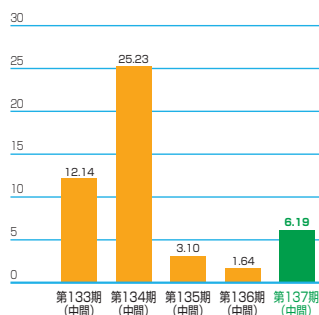
経常利益 (単位: 百万円)



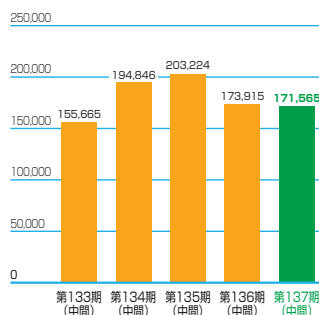
中間純利益 (単位: 百万円)



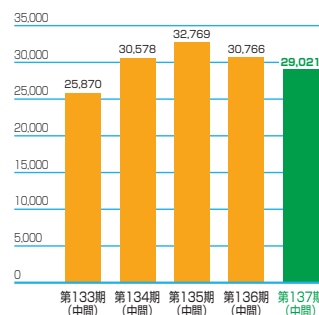
1株当たり中間純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



	第133期 (中間) 平成18年9月期	第134期 (中間) 平成19年9月期	第135期 (中間) 平成20年9月期	第136期 (中間) 平成21年9月期	第137期 (中間) 平成22年9月期
売上高 (百万円)	160,424	203,226	213,744	174,892	175,273
経常利益 (百万円)	1,056	2,291	1,956	475	1,084
中間純利益 (百万円)	649	1,592	207	106	402
1株当たり中間純利益 (円)	12.14	25.23	3.10	1.64	6.19
総資産 (百万円)	155,665	194,846	203,224	173,915	171,565
純資産 (百万円)	25,870	30,578	32,769	30,766	29,021
1株当たり純資産額 (円)	480.91	481.92	486.69	471.49	444.86

■ 営業の概況 Our Vision

当中間連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）における我が国経済は、アジア向け輸出が景気を下支えているものの、長引く円高傾向とリーマンショックの後遺症にあえぐ欧米経済の先行き不透明さを背景に踊り場状態にあり、二番底を懸念する声も聞かれております。

今夏は過去にない猛暑で、クーラー・飲料・冷蔵などの一部季節商品に活況が見られましたが、農水産物被害や秋物衣料の不振などで個人消費が景気を押し上げるには至らず、エコカー購入補助金制度終了を前にした駆け込み需要も部分的で、国民生活にとって消費マインドは低いものとなっております。

紙パルプ業界におきましては、需要旺盛な中国・アジアに向けた輸出数量増加の一方で、国内需要は主力の印刷・情報用紙が景気低迷の影響を受け大きくマイナス、板紙・包装用紙分野で夏物関連に一部プラス要因があったものの、国内出荷量は前年比横這い、前々年比では約2割減の状況が続いております。国内製紙メーカー各社は、需給安定のため減産を継続しておりますが、円高も加わり、輸入紙の流入が依然高い水準を維持しており、市況価格の不安材料となっております。

このような状況下、当社グループでは、取り巻く厳しい経営環境に対処するため、コストダウンや流通として求められる機能強化に努めてまいりました。その結果当中間期の当社グループの連結業績につきましては、売上高1,752億73百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益8億94百万円（同47.0%増）、経常利益10億84百万円（同128.1%増）、中間純利益4億2百万円（同277.7%増）となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

<紙・パルプ等卸売事業>

紙分野の販売数量・販売金額は、国内向けが減少、海外向けは増加しました。国内向けは企業の広告宣伝費の削減、電子書籍などデジタル化の台頭と急進、通販事業におけるネット配信移行、請求書のWeb化の流れなど出版・印刷事業の構造変化が、需要回復の懸念材料となっております。海外向けは、住宅・雇用に弱さを抱える米国や、加熱する経済の引き締めを鮮明にする中国など、外需牽引力に陰りが見えております。

板紙分野では、景気低迷の影響はあるものの、生活必需品の輸送に不可欠であることや、猛暑の影響で飲料関連などが伸びたことを背景に段ボール需要のプラス要因があり、国内出荷は引き続き前年比増となりました。

以上の結果、売上高は1,747億99百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

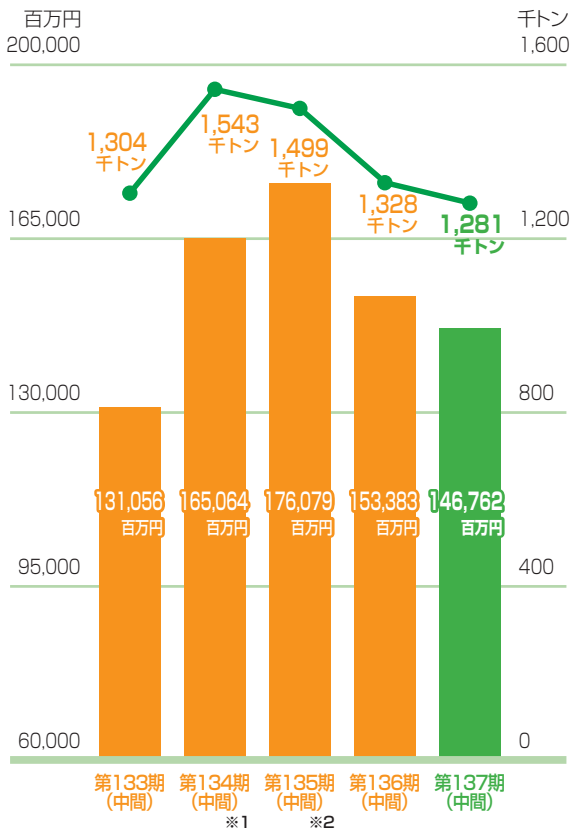
<不動産賃貸事業>

2008年度のリーマンショックにより大きく低迷した不動産マーケットは、今年度の不動産の総合収益率が1996年以来13年ぶりに全地区でマイナスに転落いたしました。

需要減少による市況悪化はオフィスの賃貸市況をさらに悪化させ、現行賃料が市場賃料を上回る状態が生じております。このような環境下で当社も現入居者の退去を防止し、新規テナント誘致のためには、賃料の引き下げさらにフリーレントの導入も容認せざるを得ない状態で推移いたしました。

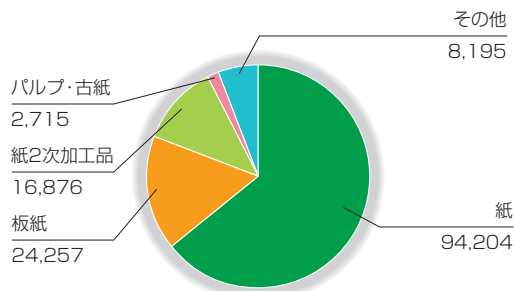
引き続き募集活動に注力いたしましたが賃貸料は減収となり、売上高は4億73百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

■ 個別売上高・売上数量推移

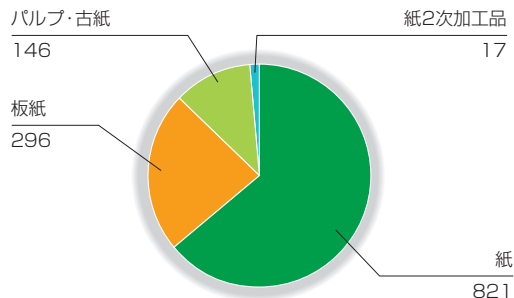


■ 個別品種別商品売上高金額・数量割合実績 (第137期中間)

金額 (単位 / 百万円)



数量 (単位 / 千トン)



中間連結財務諸表 Financial Statements

中間連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成22年9月30日	前中間期 平成21年9月30日
流動資産	129,725	127,775
現金及び預金	4,477	1,545
受取手形及び売掛金	108,288	108,228
たな卸資産	15,579	15,626
繰延税金資産	471	670
その他	1,931	2,182
貸倒引当金	△ 1,022	△ 478
固定資産	41,840	46,139
有形固定資産	25,578	25,755
建物及び構築物	6,301	6,629
土地	17,859	18,764
その他	1,416	361
無形固定資産	273	377
投資その他の資産	15,988	20,006
投資有価証券	13,427	16,398
繰延税金資産	283	666
その他	4,747	5,086
貸倒引当金	△ 2,470	△ 2,144
資産合計	171,565	173,915

(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成22年9月30日	前中間期 平成21年9月30日
流動負債	123,944	129,703
支払手形及び買掛金	86,832	88,482
1年内償還予定の社債	200	250
短期借入金	28,247	31,903
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
未払法人税等	145	460
賞与引当金	678	780
役員賞与引当金	26	24
その他	2,813	2,801
固定負債	18,599	13,445
社債	—	200
長期借入金	12,841	6,400
繰延税金負債	2,389	3,316
退職給付引当金	383	414
役員退職慰労引当金	264	250
負ののれん	1,421	1,708
その他	1,299	1,155
負債合計	142,544	143,148
株主資本	32,065	31,734
資本金	3,442	3,442
資本剰余金	7,752	7,752
利益剰余金	21,567	21,235
自己株式	△ 697	△ 697
評価・換算差額等	△ 3,123	△ 1,058
その他有価証券評価差額金	△ 2,403	△ 547
繰延ヘッジ損益	△ 1	26
為替換算調整勘定	△ 718	△ 537
少数株主持分	79	90
純資産合計	29,021	30,766
負債純資産合計	171,565	173,915

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期	前中間期
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日
売上高	175,273	174,892
売上原価	165,076	164,640
売上総利益	10,196	10,252
販売費及び一般管理費	9,301	9,643
営業利益	894	608
営業外収益	541	503
営業外費用	350	636
経常利益	1,084	475
特別利益	228	410
特別損失	677	740
税金等調整前中間純利益	635	145
法人税、住民税及び事業税	59	360
法人税等調整額	180	△ 313
法人税等合計	239	47
少数株主損益調整前中間純利益	395	—
少数株主損失(△)	△ 6	△ 7
中間純利益	402	106

中間連結キャッシュ・フロー(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

区分	当中間期	前中間期
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,514	7,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 275	313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,829	△ 11,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 38	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 629	△ 3,046
現金及び現金同等物の期首残高	3,068	4,433
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	42
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,439	1,429

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 平成22年4月1日～平成22年9月30日

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定		
平成22年3月31日 残高	3,442	7,752	21,554	△ 697	32,053	△ 1,017	△ 0	△ 631	88	30,492
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 390		△ 390					△ 390
中間純利益			402		402					402
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)						△ 1,385	△ 1	△ 87	△ 9	△ 1,482
中間連結会計期間中の 変動額合計	—	—	12	△ 0	12	△ 1,385	△ 1	△ 87	△ 9	△ 1,470
平成22年9月30日 残高	3,442	7,752	21,567	△ 697	32,065	△ 2,403	△ 1	△ 718	79	29,021

中間個別財務諸表

Financial Statements

中間個別貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成22年9月30日	前中間期 平成21年9月30日
流動資産	115,320	117,028
現金及び預金	2,811	589
受取手形	25,683	24,436
売掛金	68,817	73,000
商品	12,566	12,608
繰延税金資産	432	508
短期貸付金	4,952	5,458
その他	993	915
貸倒引当金	△ 937	△ 489
固定資産	42,230	45,068
有形固定資産	25,041	25,202
建物	6,096	6,407
土地	17,607	18,510
その他	1,337	284
無形固定資産	167	237
投資その他の資産	17,021	19,628
投資有価証券	10,897	13,812
関係会社株式	3,858	3,494
その他	3,042	3,209
貸倒引当金	△ 776	△ 889
資産合計	157,550	162,096

(単位：百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期 平成22年9月30日	前中間期 平成21年9月30日
流動負債	110,603	118,051
支払手形	2,987	3,874
買掛金	78,387	80,392
一年内償還予定の社債	200	250
短期借入金	20,928	25,049
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
未払法人税等	96	421
賞与引当金	611	710
役員賞与引当金	23	22
その他	2,367	2,332
固定負債	17,940	13,159
社債	—	200
長期借入金	12,500	6,400
繰延税金負債	2,316	3,258
退職給付引当金	259	295
役員退職慰労引当金	210	208
長期預り保証金	1,106	1,088
負ののれん	1,391	1,669
その他	156	39
負債合計	128,543	131,210
株主資本	31,419	31,427
資本金	3,442	3,442
資本剰余金	7,750	7,750
資本準備金	1,160	1,160
その他資本剰余金	6,590	6,590
利益剰余金	20,923	20,930
利益準備金	669	669
その他利益剰余金	20,254	20,261
固定資産圧縮積立金	1,211	1,244
固定資産圧縮特別勘定積立金	614	—
海外投資等損失準備金	41	38
別途積立金	10,527	10,527
繰越利益剰余金	7,859	8,450
自己株式	△ 697	△ 697
評価・換算差額等	△ 2,412	△ 541
その他有価証券評価差額金	△ 2,412	△ 541
繰延ヘッジ損益	0	0
純資産合計	29,007	30,885
負債純資産合計	157,550	162,096

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

科目	当中間期	前中間期
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日
売上高	146,762	153,383
売上原価	138,203	144,422
売上総利益	8,558	8,960
販売費及び一般管理費	7,921	8,223
営業利益	637	737
営業外収益	470	475
営業外費用	281	324
経常利益	825	887
特別利益	214	394
特別損失	538	97
税引前中間純利益	501	1,184
法人税、住民税及び事業税	22	324
法人税等調整額	176	66
中間純利益	302	792

中間財務指標(個別)

	当中間期	前中間期
売上高経常利益率	0.6%	0.6%
総資本経常利益率(ROA)	0.5%	0.5%
株主資本純利益率(ROE)	1.0%	2.6%
株主資本比率	18.4%	19.1%

中間株主資本等変動計算書 当中間期 平成22年4月1日～平成22年9月30日

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	
平成22年3月31日 残高	3,442	7,750	21,011	△ 697	31,507	△ 1,013	△ 3	30,490
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 390		△ 390			△ 390
中間純利益			302		302			302
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)						△ 1,399	3	△ 1,395
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△ 87	△ 0	△ 87	△ 1,399	3	△ 1,483
平成22年9月30日 残高	3,442	7,750	20,923	△ 697	31,419	△ 2,412	0	29,007

TOPICS

■ 定時株主総会のビジュアル化

6月25日開催の定時株主総会において、大型スクリーンを使用し、事業内容や業績、環境への取り組みなどを映像とナレーションでご説明しました。これからも株主の皆様へ、当社の活動を分かりやすくご理解いただけるよう、努めてまいります。



■ 電気自動車の導入

本社に電気自動車を1台導入しました。電気自動車は走行中のCO₂やNO_xの排出がなく、環境負荷の低減ができます。一般家庭と同じ100Vコンセントから充電でき、夜間電力を使用することで燃料コストはガソリン車の1/5程度に抑えられます。

また当社は、社有車の台数削減、環境対応車への切り替えに取り組んでおり、様々な施策の中で、地球と環境にやさしい企業をめざしてまいります。



■ 本社屋上庭園オープニングに中畑清氏来社

5月20日、当社が協賛する環境アスリート協会の賛同アスリートである元読売巨人軍の中畑清氏を招き、本社ビル屋上庭園のオープニングセレモニーを行いました。当日はあいにくの雨となりましたが、アオダモの記念植樹や近隣の明石幼稚園の園児達と赤く実った苺の収穫を行いました。



株式の状況・会社概要

Stock Information · Corporate Profile

株式の状況（平成22年9月30日現在）

発行可能株式総数267,500,000株
発行済株式の総数67,027,406株※
株主数1,048名

※自己株式1,968,771株を含む。

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
王子製紙株式会社	12,736	19.5
日本製紙株式会社	6,028	9.2
株式会社みずほコーポレート銀行	2,857	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,625	4.0
株式会社三井住友銀行	2,625	4.0
農林中央金庫	2,625	4.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,180	3.3
北越紀州製紙株式会社	1,851	2.8
三井住友海上火災保険株式会社	1,829	2.8
国際紙パルプ商事従業員持株会	1,513	2.3

※出資比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役及び監査役（平成22年9月30日現在）

取締役会長 鈴木 光
代表取締役社長 赤松 恭夫
専務取締役 田辺 円 日置 宗孝
常務取締役 今堀 章 高田 正博 垣津 雅義
取締役 西村 邦敏 田中 康友 原 敬三
桜井 光明 桃谷 隆夫
取締役(非常勤) 富岡 孝雄
監査役(常勤) 有岡 芳明 田中 茂好
監査役 小林 敏郎 安藤 信彦

会社の概況（平成22年9月30日現在）

社 名 国際紙パルプ商事株式会社
設 立 1924年(大正13年)12月1日
本 社 東京都中央区明石町6番24号
従 業 員 数 667名

■営業拠点

大阪支店 〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-6
名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-20
九州支店 〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20 ぶくぎん博多ビル
京都支店 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入 京都三井ビル
仙台支店 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-10 仙都会館ビル
札幌支店 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2-1-5 リージェントビル
神戸支店 〒650-0001 神戸市中央区加納町4-10-21

ケービーピー中国 [Kokusai Pulp & Paper (China) Company Limited]
中華人民共和国 上海市婁山関路83号 新虹橋中心大廈 第28層2801室
・北京支店

海外部門

(株) ダイエイ パーパース インターナショナル コーポレーション
〒104-0044 東京都中央区明石町6-24
・ソウル支店

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会においては毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
公告の方法	日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

ホームページのご案内

<http://www.kppc.co.jp/>

国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP & PAPER CO.,LTD.

会社案内 Company Profile
IR情報 IR Information
採用情報 Recruit
株主活動 Share Presentation
商品・サービス情報 Service Info
環境活動 Environment
お客様ページ User Service
市場 Market Report

Topics
2010.07
■ 「第1回国産フラワーKPPC」IR&PRに出展いたします
2010.10.06
■ 2010年度の採用情報を掲載
2010.10.06
■ 「中国環境特許権展示交易会」ブース出展のお知らせ
2010.10.1
■ 店舗「TSUNAGU」東京営業のご案内
2010.09.16
■ 本社ビルにて誘致動線を掲載
2010.09

KPP WEB SOLUTION
PRPPER
PAPER MALL
KPP VIDEO GALLERY



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号

03-3542-4111

<http://www.kppc.co.jp/>